

■アフリカ：風力発電設備容量、急増の見通し

2015年6月25日付の記事によると、世界風力の日である6月15日に世界風力会議(GWEC)から発表されたレポートでは、今後5年間でアフリカにおける風力発電設備容量が急増し、2019年には発電設備が1,300万kWに達する見通しを示している。2014年にアフリカに導入された風力発電設備導入量は初めて約100万kWに達し、今後も増え続けると見られている。これまでアフリカでは、風力発電開発はほとんどが南アフリカとエジプトで行われてきたが、今後はモロッコ、エチオピア、ケニア、タンザニア、ガーナでも開発が進むとされる。